



名古屋市の上下水道事業に関わる人に聞いてきました！ ～水質管理課（下水部門）で働く職員へのインタビュー～



■水質管理課ではどんな水質検査をしていますか。

水処理センターは汚れた水をきれいにして、川に流していますが、こうした施設は流す水で川を汚してしまうことのないよう、確認することが義務付けられています。名古屋市内には15カ所の水処理センターがあり、毎日川に流す水の水質を確認しています。それに加えて、水質管理課でもたくさんの項目で詳しい水質検査を実施しています。具体的には、窒素やリンなど法律で定められた約40種類の項目で、基準を満たしていることを確認します。項目によっては、詳しい測定ができる機械を使った検査（写真参照）も行います。



また、みなさんのご家庭などから水処理センターに届く水や処理途中の水も検査することで、異常な物質が流入していないか、処理が上手くできているかを確認する手掛かりにしています。異常が発見されたときには臨時の検査を行って、原因を調査しています。



■苦労話や裏話、役得を聞かせてください。

水処理センターに届く水の検査で普段と異なる物質が検出された場合には、水処理センターでの処理が通常通り行えているのか、また、処理した水を川へ流した場合に自然に影響を与えないかなどを確認しなくてはなりません。原因物質が工場由来の有害物質であれば、工場への聞き取り調査なども行います。原因探しでは苦労することもあります。きれいな水を自然に還すことを第一に心掛けています。

■仕事でのこだわりや自負していることはありますか。

水処理センターに届く水は季節や天候によって変化する上に、水処理で活躍する微生物の量や状態が変わるため、項目によっては検査結果が変動することもあります。そういった場合でも、状況に応じた対策を行い、常に適切な水質を保つようにしています。



■市民のみなさまに知っていただきたいことはありますか？

水処理センターでの毎日の確認に加えて、水質管理課ではたくさんの項目を詳しく検査し、川に流す水が安全できれいであることを確認しています。油や薬品が大量に水処理センターに入ると、処理に負担がかかる原因にもなりますので、調理後の油汚れはふき取ってから洗うなどを心掛けていただけたら嬉しいです。